

## 7. 水質関係

### (1) 公害防止協定等水質調査（環境対策課）

#### 【黒磯地区】

公害防止協定及び覚書に基づき、市の立会いの下に事業主が事業場の排水又は付近住民の井戸水の水質を調査するものである。

#### ◎株B S 那須工場排水調査

- ▽調査回数 年2回（4、10月）
- ▽調査対象 南側工場排水、北側工場排水
- ▽分析項目 8項目
- ▽調査結果 各項目とも基準を満たしており、水質の異常は認められなかった。

#### ◎株B S 栃木工場排水調査

- ▽調査回数 年2回（5、11月）
- ▽調査対象 工場排水
- ▽分析項目 5項目
- ▽調査結果 各項目とも基準を満たしており、水質の異常は認められなかった。

#### ◎那須高原ハム(株)工場排水調査

- ▽調査回数 年4回（5、8、11、2月）
- ▽調査対象 工場排水
- ▽分析項目 6項目
- ▽調査結果 各項目とも基準を満たしており、水質の異常は認められなかった。

#### ◎那須高原牧場(株)第3牧場付近井戸水質調査

- ▽調査回数 年3回（5、9、1月）
- ▽調査対象 9井戸
- ▽分析項目 10項目
- ▽調査結果 1つの井戸で色度の項目が1回基準値を超過した。それ以外は各項目とも基準を満たしていた。

#### ◎那須グリコ乳業(株)工場排水調査

- ▽調査回数 年4回（6、9、12、3月）
- ▽調査対象 工場排水
- ▽分析項目 7項目
- ▽調査結果 透視度、大腸菌群数の項目で基準値を超過した月があった。それ以外は各項目とも基準を満たしていた。

#### ◎クニミネ工業(株)黒磯研究所付近井戸水質調査

- ▽調査回数 年1回（6月）
- ▽調査対象 3井戸
- ▽分析項目 10項目
- ▽調査結果 各項目とも基準を満たしており、水質の異常は認められなかった。

#### ◎那須ハイランドゴルフ(株)排水水質調査

- ▽調査回数 年4回5、7、10、12月（板室既設水道水源のみは年3回（5、7、10月））
- ▽調査対象 A調整池、B調整池、C調整池、河川合流後（沢名川）、板室既設水道水源
- ▽分析項目 13項目
- ▽調査結果 各項目とも基準を満たしており、水質の異常は認められなかった。

#### 【西那須野地区】

公害防止協定及び覚書に基づき、市及び大田原市の立会いの下に事業主が事業場の排水の水質を調査するものである。

◎工業団地排水水質調査

- ▽調査回数 年12回（実施月は下記参照）
- ▽調査対象 工業団地総合水質検査池（4、5、7、8、10、11、1、2月）  
蕪中川最終排水口（6、9、12、3月）
- ▽分析項目 15項目
- ▽調査結果 総合水質検査池でBODの項目が1回基準値を超過した。それ以外は各項目とも基準を満たしていた。

◎工業団地雨水排水水質調査

- ▽調査回数 年2回（8、2月）
- ▽調査対象 工業団地蛇尾川雨水排水口
- ▽分析項目 10項目
- ▽調査結果 各項目とも基準を満たしており、水質の異常は認められなかった。

◎工業団地内事業所工業排水水質調査

- ▽調査回数 年12回（毎月）
- ▽調査対象 23事業場（毎月）
- ▽分析項目 4項目
- ▽調査結果 (株)豊和繊維栃木製作所においてBODが3回、(有)ハルテック那須事業所においてpHが1回基準を超過した月があった。

公害防止協定及び覚書に基づき、事業主が事業場の排水の水質を調査し、報告を受けているものである。

◎カゴメ(株)工場排水調査

- ▽調査回数 年12回（毎月）
- ▽調査対象 工場排水
- ▽分析項目 3項目
- ▽調査結果 各項目とも基準を満たしており、水質の異常は認められなかった。

【塩原地区】

公害防止協定及び覚書に基づき、市及び大田原市の立会いの下に事業主が事業場の排水の水質を調査するものである。

◎セイコーNPC(株)工場排水調査

- ▽調査回数 年4回（5、8、11、2月）
- ▽調査対象 工場排水
- ▽分析項目 5項目
- ▽調査結果 各項目とも基準を満たしており、水質の異常は認められなかった。

(2) 事業場等水質調査（環境対策課）

【黒磯地区】

板室地内の開発分譲地（黒磯観光開発(株)）における排水処理場の排水を調査するものである。

◎事業場定期水質調査

- ▽調査回数 年2回（8、2月）
- ▽調査対象 処理場排水
- ▽分析項目 4項目
- ▽調査結果 各項目とも基準を満たしており、水質の異常は認められなかった。

【西那須野地区】

井口地内のアサヒ団地の排水を調査し、排水先の農業用水路の管理者である東部土地改良区に報告するものである。

◎アサヒ団地排水水質調査

▽調査回数 年2回(10、2月)

▽調査対象 団地排水口

▽分析項目 7項目

▽調査結果 10月の調査において、大腸菌群数の項目が基準値を超過した。それ以外は各項目とも基準を満たしていた。

(3) 河川等水質調査(環境対策課)

【黒磯地区】

那珂川の河川水質を定期的に調査するものである。

◎那珂川水質調査

▽調査回数 年12回(毎月)

▽調査地点 4地点(那珂川橋、りんどう大橋、晩翠橋、昭明橋)

▽分析項目 5項目

▽調査結果

- ・pHの基準達成率は、98%(前年度92%)で、ほぼ中性を保っている。
- ・SSの基準達成率は、100%(前年度100%)で、水中の浮遊物質は少ない。
- ・BODの基準達成率は、100%(前年度100%)で、水中の有機物の量は少ない。
- ・大腸菌群数の基準達成率は、48%(前年度33%)で、ここ数年は20%~60%の達成率で推移しており、環境基準を達成することは少ない。

【塩原地区】

箒川の河川水質を定期的に調査するものである。

◎箒川水質調査

▽調査回数 年12回(毎月)

▽調査地点 4地点(塚原橋、八汐橋、関谷地内、宇都野橋)

▽分析項目 5項目

▽調査結果

- ・pHの基準達成率は、98%(前年度96%)で、ほぼ中性を保っている。
- ・SSの基準達成率は、100%(前年度98%)で、水中の浮遊物質は少ない。
- ・BODの基準達成率は、100%(前年度100%)で、水中の有機物の量は少ない。
- ・大腸菌群数の基準達成率は、35%(前年度42%)で、ここ数年は20%~50%の達成率で推移しており、環境基準を達成することは少ない。

【黒磯・塩原地区】

那珂川及び箒川へ流入する河川水質を定期的に調査するものである。

◎那珂川箒川流入河川水質調査

▽調査回数 年1回(10月)

▽調査地点 13地点(木ノ俣川、板室湯川、沢名川、上黒尾川、下黒尾川、高雄股川、那須湯川、高野川、高野川合流後、シラン沢川、追沢川、鹿股川、滝沢)

▽分析項目 5項目

▽調査結果 12地点において大腸菌群数が基準を超過した。

(4) 農薬濃度調査(環境対策課)

【黒磯地区】

那須ハイランドゴルフクラブで使用している農薬の影響を把握するために調査するものである。

◎河川水農薬調査

▽調査回数 年1回(6月)

▽調査地点 2地点(沢名川\*乙女の滝、小沢名川\*境橋)

▽分析項目 69項目(「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針(環境



地域別では、県南西部6回、県南部5回、県南東部1回、県中央部5回、県東部0回、県北西部0回、那須塩原市を含む県北東部は0回です。

## 9. 騒音及び振動関係

### (1) 環境騒音調査 (環境対策課)

- ▽調査回数 年1回(11月)
- ▽調査地点 10地点
- ▽調査方法 24時間測定(30分毎に10分間)
- ▽調査結果

(単位：dB)

		昼間 (6:00~22:00)			夜間 (22:00~6:00)			備 考
		測定値	基準値	基準適合	測定値	基準値	基準適合	
道路に面しない地域	清住町	50	55	○	42	45	○	第1種中高層住居専用地域
	弥生町Ⅰ	51	55	○	42	45	○	第1種住居地域
	弥生町Ⅱ	48	60	○	44	50	○	近隣商業地域
道路に面する地域	前弥六	61	70	○	54	65	○	第2種住居地域 主要地方道53号 4車線
	塩原	61	70	○	55	65	○	商業地域 国道400号 2車線
	上赤田	67	70	○	60	65	○	準工業地域 国道400号 4車線
	西富山	69	70	○	68	65	×	準工業地域 国道4号 2車線
	黒磯幸町	63	70	○	56	65	○	商業地域 県道303号 2車線
	大原間	69	70	○	70	65	×	準工業地域 国道4号 2車線
	太夫塚	62	70	○	55	65	○	用途地域外 国道400号 4車線

### (2) 新幹線騒音調査 (環境対策課)

- ▽調査回数 年1回(12月)
- ▽調査地点 2地点
- ▽調査方法 鉄道敷から25mの地点において、上下10本ずつ計20本に関して測定
- ▽測定結果

(単位：dB)

	測定値	基準値	基準適合	備 考
下厚崎	74	70	×	用途地域外
太夫塚	74	70	×	第1種住居地域

(3) 道路振動調査 (環境対策課)

▽調査回数 年1回 (11月)

▽調査地点 10地点

▽調査方法 24時間測定 (30分毎に10分間)

▽調査結果

(単位: dB)

	昼間 (8:00~20:00)			夜間 (20:00~8:00)			備 考
	測定値	基準値	基準適合	測定値	基準値	基準適合	
清住町	28	65	○	<25	60	○	第1種中高層住居専用地域
弥生町 I	<25	65	○	<25	60	○	第1種住居地域
弥生町 II	<25	70	○	<25	65	○	近隣商業地域
前弥六	35	65	○	29	60	○	第2種住居地域 主要地方道53号 4車線
塩原	<25	70	○	<25	65	○	商業地域 国道400号 2車線
上赤田	28	70	○	<25	65	○	準工業地域 国道400号 4車線
西富山	47	70	○	49	65	○	準工業地域 国道4号 2車線
黒磯幸町	30	70	○	26	65	○	商業地域 県道303号 2車線
大原間	46	70	○	48	65	○	準工業地域 国道4号 2車線
太夫塚	38	—	—	30	—	—	用途地域外 国道400号 4車線

## 10. 自然保護対策事業、環境学習事業、環境美化事業

### (1) 動植物実態調査 (環境管理課)

- ▽実施期間 4月～3月
- ▽調査内容 市の希少野生動植物種の保護対策に係る施策の基礎資料として活用することを目的に、合併後の平成17年度に那須塩原市動植物調査研究会を設置し、研究会委員による市内に生息・生育する野生動植物の実態調査を進めている。平成29年度は、規則で定める市の希少野生動植物種の見直しや市レッドデータブックの確認記録原簿の作成等を行った。
- ▽委員 24名(研究会委員(専門家)に委嘱)

### (2) 環境企画展 (環境管理課)

- ▽日程
- ・9月10日(日) 第9回黒磯駅前もったいない市(黒磯駅前通り)
  - ・10月14日(土) 西那須野産業文化祭(にしなすの運動公園)
  - ・11月11日(土)、12日(日) なすしおばらまなび博覧会(宇都宮共和大学那須キャンパス)
  - ・2月18日(日) 第13回消費生活と環境展(いきいきふれあいセンター)
- ▽テーマ ど~なってるの!? 那須塩原市の野生動植物
- ▽来場者数 2,754名(環境企画展ブースへの来場者数)
- ▽実施内容 市内の希少野生動植物種や外来種を生体やパネル等を使って展示したほか、市動植物調査研究会委員を講師に招き、来場者に対して展示物等の解説を行った。また、来場者数把握のためアンケートを実施し、協力者にはグッズ等の配布を行った。
- 展示内容等
- ・レッドデータブックについて(パネル)
  - ・市内に生息・生育する希少野生動植物種について(パネル・生体)
  - ・外来種について(パネル・生体・標本)
  - ・アンケートの実施
  - ・なすしおばらエコポイント制度のPR

### (3) 消費生活と環境展 (環境部門) (生活課及び出展した課・施設)

- ▽実施期日 2月18日(日)
- ▽場所 いきいきふれあいセンター
- ▽主な内容
- \*環境管理課環境企画係
    - ・希少野生動植物や外来種に関するパネル展示
    - ・市動植物調査研究会委員による展示物の解説
    - ・「那須塩原市レッドデータブック2017」概要版及びエコポイントシートの配布
  - \*環境管理課環境衛生係
    - ・動物の命についての啓発
    - ・リーフレット配布、ポスターの掲示(飼い犬、ねこが迷い子になったら)
    - ・子犬譲渡会のお知らせのポスター及び写真掲示
    - ・災害時のペット同行避難リーフレットの掲示
    - ・市作成のフン害防止プレートの展示
  - \*環境対策課公害対策係
    - ・遮音体験、パックテストの使い方
  - \*環境対策課廃棄物対策室
    - ・3R及びごみ減量化に関するパネル展示
    - ・小型家電回収、ごみ別アプリ及び市事業の紹介
    - ・機械式生ごみ処理機等PR
    - ・アンケート及びマイバックの配布
    - ・レジ袋削減に関するポスター、標語、マイバックの展示

- ・不法投棄写真及び監視カメラ展示
- \*那須塩原クリーンセンター
  - ・那須塩原クリーンセンター紹介 DVD の再生
  - ・再生品販売申込
- \*下水道課
  - ・下水道普及啓発ポスターの展示
  - ・下水道及び浄化槽関連パネルの展示
  - ・水処理センターの模型の展示
  - ・合併浄化槽の模型の展示
  - ・「下水道いろいろコンクール」の標語の募集
  - ・ぬりえコーナーの設置
  - ・下水道・浄化槽簡易相談
  - ・トイレトペーパーとティッシュペーパーの溶解実験
- \*エコライフネットワーク「とちぎ」
  - ・エコつりぼり
  - \*那須塩原環境ボランティアの会
    - ・木ノ俣園地・深山園地の植物の紹介
    - ・那須塩原市の動植物の姿 写真展示、標本展示
    - ・会の活動紹介
- \*げんごろうの会
  - ・那珂川の水生生物調査の結果の紹介
  - ・不法投棄「ごみ」ひろい活動報告
  - ・「げんごろうの会」の環境活動報告
  - ・環境関連資料の配布
- \*株那須環境技術センター
  - ・地球温暖化の仕組みについてパネル展示
  - ・二酸化炭素による温室効果の実験
- \*栃木県文具事務機器組合
  - ・エコ文具、事務用品
- \*セイフティーライト推進委員会
  - ・光害に関するパネルの展示
  - ・光害体験コーナーの設置
  - ・星空の写真の展示
  - ・公害のビデオ上映
- \*青木地区産業廃棄物対策委員会女性の会
  - ・青木産業反対運動の現状と問題に関するパネルの展示
- \*K B E サービス(株)
  - ・廃食油（天ぷら油）からのろうそく作り及び展示
  - ・廃油の回収の実施
- \*那須塩原市生活学校
  - ・リサイクル品の展示
  - ・体験学習「折紙」
  - ・会員の作品展示
- \*とちぎコープ生活協同組合（コープ西那須野センター）
  - ・「とちぎコープの環境の取組み」パネル展示
  - ・エコクイズ
  - ・サンプル配布
- \*My Eco Life（マイ・エコ・ライフ）
  - ・家庭用ごみ総排出調査実績
  - ・家庭用ごみ有料袋の使用金額実績



(4) 那須塩原クリーンセンター見学 (那須塩原クリーンセンター)

- ▽実施期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日 (土日祝日は除く)
- ▽場 所 那須塩原クリーンセンター
- ▽テーマ ごみについて考える
- ▽見学者数 981名
- ▽内 容 那須塩原クリーンセンターの施設内見学

(5) 水生生物による那珂川水質調査 (環境管理課)

- ▽実施期日 6月29日 (木)
- ▽場 所 昭明橋付近、晩翠橋付近、幾世橋付近 計3箇所
- ▽参加者数 14名
- ▽指 導 者 (株)那須環境技術センター分析部部長
- ▽内 容 水辺教室の一環として、水生生物による那珂川の水質調査を実施

(6) ホタル観察会 (環境管理課)

- ▽実施期日 7月4日 (火) ※雨天のため中止
- ▽場 所 二区町公民館及び二区町ほたるの里
- ▽申込者数 10名
- ▽指 導 者 二区町ほたるの里保全会代表
- ▽内 容 ホタルの生態についての学習とホタルの観察を予定していたが、雨天及び台風接近中のため、中止とした。

(7) 沼ッ原湿原植物観察会 (環境管理課)

- ▽実施期日 7月2日 (日)
- ▽観察場所 沼ッ原湿原
- ▽参加者数 45名
- ▽講 師 那須塩原環境ボランティアの会会員 (3名)
- ▽内 容 初夏の沼ッ原湿原の動植物について、講師の説明を受けながら現地で観察会を実施

(8) 那須塩原クリーンセンタークワガタ放虫会 (那須塩原クリーンセンター)

- ▽実施期日 6月20日 (火)
- ▽場 所 那須塩原クリーンセンター
- ▽参加者数 27名
- ▽内 容 那須塩原クリーンセンターの発電電気を利用して、飼育室を定温で温室飼育し、クワガタの幼虫を通常より早く羽化させ、成虫にしたクワガタを関谷小学校全校の児童たちと施設周辺林に放虫

(9) 化石発掘隊2017 (那須野が原博物館)

- ▽実施期日 5月13日 (土)
- ▽場 所 那須塩原市
- ▽参加者数 16名
- ▽内 容 現地での化石の採集と博物館での講義・クリーニング作業を通して、大昔の生物に対する理解を図った。

(10) 特別展「大恐竜展Ⅱ トリケラトプスとアジアの超肉食恐竜」

▽実施期日 7月8日(土)～9月24日(日)  
▽場 所 那須野が原博物館  
▽参加者数 30,989名  
▽内 容 トリケラトプスやタルボザウルスなどの全身骨格標本をはじめ、恐竜を系統ごとに展示し、主要なグループとその特徴を紹介する展示をおこない、大昔の生物に対する理解を図った。

(11) ギャラリー展「那須塩原市レッドデータブック2017ー守るべき生き物たちー」(那須野が原博物館)

▽実施期間 2月1日(木)～2月28日(水)  
▽場 所 那須野が原博物館  
▽内 容 那須塩原市レッドデータブック刊行に合わせ、那須塩原市の希少な動植物を写真パネルや標本で紹介した。

(12) 那須塩原自然講座「那須塩原市レッドデータブック2017」(那須野が原博物館)

▽実施期日 2月3日(土)、2月10日(土)、2月17日(土)【全3回】  
▽場 所 那須野が原博物館  
▽参加者数 96名  
▽内 容 那須塩原市レッドデータブック刊行に合わせたギャラリー展「那須塩原市レッドデータブック2017ー守るべき生き物たちー」の開催期間中、各生物分類群においての講座を実施した。

(13) 市民一斉清掃(環境対策課)

▽実施期日 ・春 5月28日(日) ・秋 11月12日(日)  
▽清掃場所 那須塩原市内  
▽参加者数 ・春 19,810名 ・秋 16,509名  
▽収集量 ・春 可燃ごみ 13,300kg、不燃ごみ 3,400kg(びん、かんを含む)  
・秋 可燃ごみ 8,720kg、不燃ごみ 2,860kg(びん、かんを含む)

## 11. その他

### (1) 那須塩原市版環境マネジメントシステム（地球温暖化対策実行計画【事務事業編】）の取組（環境管理課）

市では、平成19年2月に那須塩原市版環境マネジメントシステムを策定し、環境への負荷低減に向けた取り組みを行ってきた。

また、平成25年6月に『那須塩原市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】』、平成25年10月に那須塩原市地球温暖化対策実行計画【事務事業編】（第2期那須塩原市版環境マネジメントシステム）を策定し、平成21（2009）年度を基準年度とし、平成32（2020）年度までに市役所の事務事業により排出される二酸化炭素排出量を25%削減することを目標としている。

#### ① 管理単位の増減について

平成29年度において、施設の運営方法の変更により、元気アップデイサービスしおばらが環境マネジメントシステムの対象外となった。

#### ② 二酸化炭素排出量について（詳細は別表参照）

平成29年度の市役所の事務事業により排出される二酸化炭素排出量の合計は、9,868 t-CO<sub>2</sub>であり、平成28年度の10,088 t-CO<sub>2</sub>から約2%削減となった。

なお、内訳として、指定管理施設を除く市役所の管理単位の合計では、6,296 t-CO<sub>2</sub>となり、前年度から約3%の削減となり、基準年度と比べると約18%の削減となっている。

#### ③ グリーン購入割合・エコ通勤の実績について

平成29年度のグリーン購入割合は72%であり、前年度の69%から3%に増加している。目標である90%に向けて更なる努力が必要である。

エコ通勤については、平成28年度と比べると、低公害車の使用が著しく増加し、二酸化炭素排出削減量は前年度の約3倍の780 t-CO<sub>2</sub>であった。